

はじまりました！ 総合福祉センター建設工事

社会福祉に関する総合相談、福祉支援団体活動の拠点施設として、福祉関連事業を一元化した「総合福祉センター」（仮称）の建設工事がいよいよスタートしました。21世紀に向けて、より充実した福祉施策が推進されていきます。

福祉サービスの 拠点施設

急速に進む高齢化、都市化の進展とともに薄れつつある地域連帯意識、そして家庭や地域における相互扶助機能の低下などがいわれる今日、福祉に対する要望は多種多様にわたり、福祉援護活動に寄せられる期待は増大しています。総合福祉センターは、こうした要望等に応え、在宅福祉などの総合的な福祉サービスの提供、福祉事業推進のための拠点となります。

センターには福祉事務所をはじめ、社会福祉協議会、ホームヘルパー事務所、社会福祉団体などが入居する予定で、ここを核として保健所や各老人ホーム、市立総合病院など、市内の既存施設が連携しながら、文字通り総合的に、そしてよりきめ細かな福祉施策を展開していくこととなります。

主な事業

- ▽入浴サービス事業
- ▽給食サービス事業
- ▽研修・養成事業
 - ・ホームヘルパー・ボランティアの養成と研修などを実施します
- ▽各種相談事業
- ▽機能回復事業
- ▽日常生活訓練事業

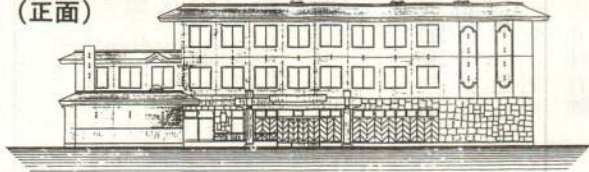
センターは 3階建て

- ▽お年寄りや体の不自由な人などを対象として、日常生活の維持、向上を図ります
- ▽障害児療育事業
- ▽在宅介護支援事業
- ▽身体障害者デイサービス事業
- ▽教養・娯楽活動事業

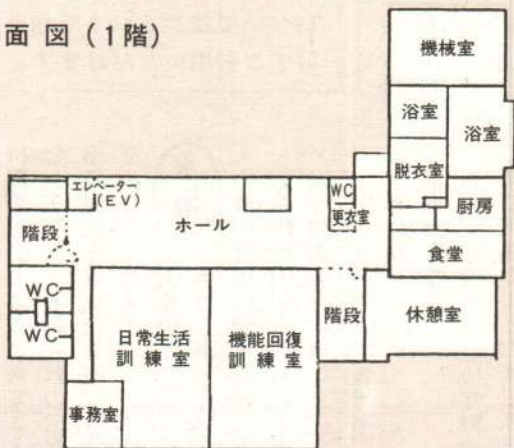
センターは、旧大館警察署の跡地（字三の丸一〇三―四）に建設されます。工事は、建物、衛生設備、空調設備、電気設備の四つに分けて進められますが、いずれも工期は四年三月二十五日。年度内の完成に向けて急ピッチで作業が開始されています。

総工費は五億四千万円余りを見込んでいます。鉄筋コンクリート造りの三階建てで、床面積の合計は二千九百平方メートルとなるこのセンター、一階から三階まではエレベーターで結ばれ、一階には日常生活訓練室、機能回復訓練室、食堂、浴室などが、二階には福祉事務所などの事務室や相談室、三階には研修室、作業室、図書室などが設けられる予定です。人生八十年時代を迎えた現在、福祉ニーズはいよいよ高まっています。様々な課題に対処するため、行政、地域社会、家庭の役割分担を明確にし、日常的な福祉活動を推進しなければなりません。センターはその基盤施設です。

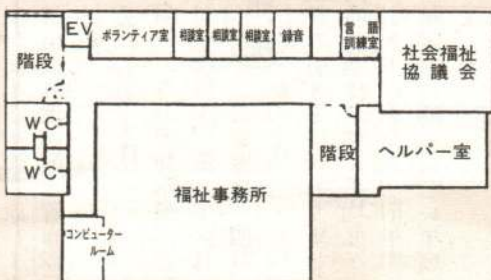
立体図
(正面)



平面図(1階)



(2階)



(3階)



市役所屋上から見たセンター建設地